

JT-Q921-a  
PBX間 デジタルインタフェース  
( 共通チャネル信号方式 ) - レイヤ2仕様

Digital Interface between PBXs  
(Common Channel Signalling) - Layer 2 - Specification

第1版

1990年4月25日制定

社団法人  
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

<参考>

## 1. 国際勧告等との関連

(1) 本標準は 1989 年 4 月制定の TTC 標準 JT-Q921 第 3 版を基に、PBX 間デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）に適用するレイヤ 2 仕様を規定している。

## 2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

TTC 標準 JT-921 に対して、以下の項目削除および規定変更を行っている。

- (1) 本標準ではポイント・ポイントデータリンクのアクセス手順のみを適用し、ポイント・マルチポイントデータリンクの手順は適用しない。
- (2) TEI ID 要求の手順が不要のため、N202、T201、T202 のシステムパラメータについて削除している。
- (3) PBX 間デジタルインタフェース（共通チャンネル形信号方式）－レイヤ 2－に TTC 標準 JT-Q921 を適用する場合は、以下の用語について読み替えを行う。

JT-Q921	PBX 間デジタルインタフェース JT-Q921-a
ISDN ユーザ・網インタフェース	PBX 間デジタルインタフェース
D チャンネル	Dp チャンネル
網側、ユーザ側	対向する PBX の片側、対向する PBX の反対側

(4) Dp チャンネル規定に関する記述を追加する。

なお本規定は、直接 NT 1、TDM に接続される場合にも適用される。

### 3. 改版の履歴

版 数	発 行 日	改 版 内 容
第1版	平成 2年 4月25日	制 定

### 4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

### 5. その他

(1) 参照している勸告、標準等

TTC 標準：JT-I431，JT-Q921，JT-Q931

JJ-20.20，JJ-20.21，JJ-20.22

JT-I431-c，JT-Q931-a

## 目 次

1. 概 要	1
2. 同位間通信のためのフレーム構成	1
3. データリンクレイヤの相互の通信のための手順要素とフィールドフォーマット	1
3.1 概 要	1
3.2 アドレスフィールドフォーマット	1
3.3 アドレスフィールド変数	1
3.3.1 アドレスフィールド拡張ビット (EA)	1
3.3.2 コマンド/レスポンスフィールドビット (C/R)	1
3.3.3 サービスアクセスポイント識別子 (SAPI)	1
3.3.4 端末終端点識別子 (TEI)	2
3.4 制御フィールドフォーマット	2
3.5 制御フィールドパラメータと対応する状態変数	2
3.5.1 ポール/ファイナルビット	2
3.5.2 マルチフレーム動作変数とシーケンス番号	2
3.6 フレームタイプ	2
4. レイヤ間通信のための要素	2
4.1 概 要	2
4.2 プリミティブ手順	2
5. データリンクレイヤの同位間手順の定義	2
5.1 P/Fビットの使用のための手順	2
5.2 非確認形情報転送の手順	2
5.3 端末終端点識別子 (TEI) 管理手順	3
5.4 データリンクレイヤ パラメータの自律交渉	3
5.5 マルチフレーム動作における設定および解放の手順	3
5.6 マルチフレーム動作における情報転送の手順	3
5.7 マルチフレーム動作の再設定	3
5.8 異常状態の通知と回復	3
5.9 システムパラメータの一覧表	3
5.10 データリンクレイヤのモニター機能	4
6. Dp チャネル規定	4

## 1. 概要

本標準は、Dp チャネル上におけるリンクアクセス手順（LAPD）の適切な動作のためのフレーム構成、手順の要素、フィールドのフォーマットおよび手順を規定したものである。本標準は JT-Q921 に準拠する。

## 2. 同位間通信のためのフレーム構成

JT-Q921 「2. 同位間通信のためのフレーム構成」と同一規定。

## 3. データリンクレイヤの相互の通信のための手順要素とフィールドフォーマット

### 3.1 概要

JT-Q921 「3.1 概要」と同一規定。

### 3.2 アドレスフィールドフォーマット

JT-Q921 「3.2 アドレスフィールドフォーマット」と同一規定。

### 3.3 アドレスフィールド変数

#### 3.3.1 アドレスフィールド拡張ビット（EA）

JT-Q921 「3.3.1 アドレスフィールド拡張ビット（EA）」と同一規定。

#### 3.3.2 コマンド/レスポンスフィールドビット（C/R）

JT-Q921 「3.3.2 コマンド/レスポンスフィールドビット（C/R）」と同一規定

#### 3.3.3 サービスアクセスポイント識別子（SAPI）

SAPI 値は表 3-1 / JT-Q921-a に示すように割り当てられる。

表 3-1 / JT-Q921-a

SAPI値	関連するレイヤ3またはマネジメントエンティティ
0	呼制御手順
その他	将来の標準化のための予備

### 3.3.4 端末終端点識別子 (TEI)

ポイント・ポイントデータリンク接続の TEI のみとし TEI=0 を標準とし、その他の TEI 値については将来検討とする。

### 3.4 制御フィールドフォーマット

JT-Q921 「3.4 制御フィールド」と同一規定。

### 3.5 制御フィールドパラメータと対応する状態変数

#### 3.5.1 ポール/ファイナルビット

JT-Q921 「3.5.1 ポール/ファイナルビット」と同一規定。

#### 3.5.2 マルチフレーム動作変数とシーケンス番号

JT-Q921 「3.5.2 マルチフレーム動作変数とシーケンス番号」と同一規定。

### 3.6 フレームタイプ

JT-Q921 「3.6 フレームタイプ」と同一規定

## 4. レイヤ間通信のための要素

### 4.1 概要

JT-Q921 「4.1 概要」と同一規定。

### 4.2 プリミティブ手順

JT-Q921 「4.2 プリミティブ手順」と同一規定。

## 5. データリンクレイヤの同位間手順の定義

### 5.1 P/F ビットの使用のための手順

JT-Q921 「5.1 P/F ビットの使用のための手順」と同一規定。

### 5.2 非確認形情報転送の手順

JT-Q921 「5.2 非確認形情報転送の手順」と同一規定。但し放送形式に関する

る記述は適用しない。

### 5.3 端末終端点識別子 (TEI) 管理手順

JT-Q921 「5.3 端末終端点識別子 (TEI) 管理手順」は適用しない。

### 5.4 データリンクレイヤ パラメータの自律交渉

JT-Q921 「5.4 データリンクレイヤ パラメータの自律交渉」と同一規定。

### 5.5 マルチフレーム動作における設定および解放の手順

JT-Q921 「5.5 マルチフレーム動作における設定および解放の手順」と同一規定。

### 5.6 マルチフレーム動作における情報転送の手順

JT-Q921 「5.6 マルチフレーム動作における情報転送の手順」と同一規定。

### 5.7 マルチフレーム動作の再設定

JT-Q921 「5.7 マルチフレーム動作の再設」と同一規定。

### 5.8 異常状態の通知と回復

JT-Q921 「5.8 異常状態の通知と回復」と同一規定。

### 5.9 システムパラメータの一覧表

JT-Q921 「5.9 システムパラメータの一覧表」と同一規定。

但し

5.9.4 TEI アイデンティティ要求メッセージの最大再送回数 (N202)

5.9.6 TEI アイデンティティチェックメッセージの再送間隔の最小時間 (T201)

5.9.7 TEI アイデンティティ要求メッセージ送信間隔の最小時間 (T202)

に関する記述は適用しない。



#### 5.10 データリンクレイヤのモニター機能

JT-Q921 「5.10 データリンクレイヤのモニター機能」と同一規定。

#### 6. Dp チャネル規定

本標準で規定される Dp チャネルレイヤ2フレームのフレーム間タイムフィルは HDLC フラグ (0 1 1 1 1 1 0) とする。

第1版執筆作成協力者（平成2年2月1日現在）

(JT-Q921-a の制定)

第三部門委員会	第一専門委員会			(敬称略)
委員長	柏村 卓男	日本電信電話(株)		
副委員長	和田 洋夫	富士通(株)		
	久保田 恭一	国際電信電話(株)	諸星 達也	(株)アルファシステムズ
	吉田慎一郎	日本電信電話(株)	池田 直明	企業通信システムエンジニアリング(株)
	武田 恒男	エヌ・ティ・ティ・データ通信(株)	渡辺 恭行	東京電力(株)
	山本 隆司	日本情報通信(株)	竹原 啓五	日本通信協力(株)
	松本 功	アンリツ(株)		
	森内宏一郎	沖電気工業(株)		
	日比野 悟	三洋電機(株)	久島 和則	沖電気工業(株)
	西原 勉	住友電気工業(株)	前野 順一	(株)東芝
	関井 清	(株)東芝	徳永 正人	日本電信電話(株)
	浜崎 純一	日本アイ・ビー・エム(株)	川村 雅生	日本情報通信(株)
	大島 敏	日本A T & T(株)	大埜 廣治	住友電気工業(株)
	松下 稔	日本電気(株)	戸所 孝昭	日本アイ・ビー・エム(株)
	大井 真実	日本無線(株)	筒井 孝司	日本電気(株)
	小野 勲	日本ユニシス(株)	辻井 国雄	日本無線(株)
	平岩 賢志	(株)日立製作所	山浦 史雄	日本ユニシス(株)
	小松 雅喜	(株)日立テレコムテクノロジー	入部 真一	(株)日立製作所
	山本 雅治	富士通(株)	進来 俊	富士通(株)
	三塚 正博	松下通信工業(株)	中野 栄	三菱電機(株)
	岩橋 努	三菱電機(株)	岡田 一男	明星電気(株)
	多田 正信	明星電気(株)		